

**YAMAHA**

**A7000**

PROFESSIONAL SAMPLER

*取扱説明書*

**OWNER'S MANUAL**

**OWNER'S MANUAL**

# YAMAHA

# A7000

## PROFESSIONAL SAMPLER

### オーナーズマニュアル

ごあいさつ

このたびは、ヤマハプロフェッショナルサンプラーA7000をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。A7000は、先進のデジタル技術を駆使したプロ用最高級サンプラーです。

A7000の優れた機能を使いこなしていただくために、ぜひこのオーナーズマニュアルをご活用いただきますようご案内申し上げます。また、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

---

# 特長

---

本機は、プロユースに求められる「作業能率の良さ」と「サウンドクオリティの高さ」を実現するために、「作業形態に合わせてカスタマイズできる操作系」と「高品位音源」を備えたプロフェッショナルステレオサンプラーです。また「拡張性」も多岐にわたるプロの現場にマッチするように十分な配慮が施され、文字通り世界最高水準のマシンとして完成しました

---

## 高品位サウンドクオリティ

---

- ・ピッチシフト歪みが業界最小  
ピッチシフトによる歪みのみの場合、0.01%以下 / 1oct平均
- ・A/Dコンバーター  
20ビットリニア64倍オーバーサンプリング 変調方式
- ・D/Aコンバーター  
20ビットリニア8倍オーバーサンプリングアドバンストサインマグニチュード方式(全出力)

---

## データ圧縮機能

---

- ・サウンドファイルのデータ圧縮可能(ノンリアルタイム圧縮 = 40 ~ 70% / リアルタイム伸長)

---

## 高い作業能率

---

- ・プリファレンス機能  
プロマニピュレーター、プログラマーの作業形態に合わせたジョブスタイル(操作モード)のカスタマイズ登録と呼出や各種操作援助機能により、作業能率を向上
- ・強力な音色ファイルデータベース機能搭載(検索、キーワード検索)
- ・クイックオートマッピング
- ・バックグラウンドボイスロードおよびディスクアクセス
- ・スクラブ再生(編集)
- ・ディスク上の波形の直接編集が可能

---

## 多くの拡張性

---

- ・拡張音源ボード(ATGB32)により、最大同時発音数64音を実現(32音が標準装備)
- ・音源ボード1枚につき拡張メモリーSIMMにより最大64MBまでメモリー搭載可能(32音ボード / 8MBが標準装備)
- ・光磁気ディスク(3.5"MO)およびハードディスクドライブの内蔵搭載可能  
これによりデータストレージおよびダイレクトトゥーディスク機能を実現
- ・SCSIポート2基搭載によりデジチェーン外部拡張可能

## 各種音作り機能

---

- ・フルエディットシンセサイジングが可能
  - ダイナミックデジタルフィルター内蔵
    - LPF, HPF, BPF, BEF, 最大48dB/oct, Q, EG付
  - デジタルエフェクト (ST IN / ST OUT) 内蔵
    - EQ + ボイスエフェクト × 1、およびシステムエフェクト × 1
    - ボイスエフェクトはリアルタイムコントロール可能
    - システムエフェクトは各インスタごとにセンドレベル調整可能
  - コントローラフルアサイン
    - ピッチチェンジ / スクラッチなど特殊効果も可能
  - タイムストレッチ機能 (リアルタイム)
  - ネーミングセレクト機能
  - リアルタイムリサンプリング可能
  - 各種パラメーターのテンプレート装備
  - トリガーリストによるダイレクトトゥーディスク再生機能

## 互換性の確保

---

- ・FDを標準搭載し、SY99 / TX16W / 市販サンプラーのデータファイルのロードが可能 (波形、マッピング)

## 豊富なデジタル入出力

---

- ・周波数コンバーター内蔵により任意の周波数で入力可能
  - また外部クロック同期入 / 出力可能により、スレーブとなることも可能
- ・AES/EBU端子、CD/DAT端子、YAMAHA端子など、PA業界標準機器との直結可能

# 安全にお使いいただくために

本機を安全にご使用いただくために、次の点にご留意ください。



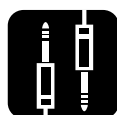
## 設置場所について

直射日光の当たる場所、極端に温度、湿度の高い場所、ホコリの多い場所、振動の多い場所などで使用することは避けてください。



## 電源について

電源は必ず100ボルトを使用してください。また、安全のため必ずアースを取るようになしてください。長時間ご使用にならない場合や、落雷の恐れがある場合などは、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。また、極端なタコ足配線はお避けください。



## 接続について

各種コードの接続は、感電と機器の損傷を防ぐため、各機器の電源コードのプラグを抜いた状態で行ってください。



## 取り扱い、移動について

ボタンやスイッチ、ディスプレイ、入出力端子などに無理な力を加えることは避けてください。また、オプションのハードディスクやMOディスクドライブを内蔵している場合は、強いショックを与えないように特に注意してください。本体の移動は、必ずMOディスクを抜いた状態で行ってください。



## 外装のお手入れについて

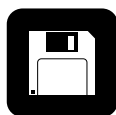
外装の手入れには、乾いた柔らかい布を使用してください。ベンジン、シンナーなどの揮発油は絶対に使用しないでください。



## バックアップバッテリーについて

本機は電源コードのプラグがコンセントからはずされている状態でも、各種データを保存するためにバックアップバッテリーを内蔵しています。このバックアップバッテリーの寿命は約5年です。

バックアップバッテリーが少なくなってくると、電源を入れたとき、画面に「WARNING:Change Backup Battery!」と表示されます。バックアップバッテリーの寿命がくると、本体内に記憶されているデータは消えてしまいますので、早めにデータをディスクなどに保存し、お買い上げ楽器店、または巻末に記載のヤマハ電気音響製品サービス拠点にバッテリーの交換をお申しつけください。なお、バッテリー交換の際にデータは消えてしまいますので、ご了承ください。



#### 大切なデータを守るために

本体内に保存されているデータは、機器の故障、あるいは誤操作などのために壊れてしまうことがあります。大切なデータは、必ず別のディスク（できれば複数のディスク）にバックアップしておいてください。

また、フロッピーディスクやMOディスクの取り扱いについては、フロッピーディスク、MOディスクに同梱されている説明書をお読みください。



#### 他の電気機器への影響について

本機は多くのデジタル回路を使用しているため、近くのラジオやテレビに雑音などが生じる場合があります。この場合には、十分に距離を離してお使いください。



#### 改造について

本機を改造することは、故障や事故につながりますので、絶対にしないでください。改造された後の保証はいたしかねます。



#### データの保存について

ハードディスクやMOディスクなどに収められているデータは、さまざまな原因により、失われたり、読み出し不可能になる場合があります。弊社では失われたデータなどについては一切保証いたしません。また、修理等で移動される場合、十分な梱包と安全な輸送手段をご使用ください。



#### 保証書の手続きについて

お買い求めの際、購入店で必ず保証書をお受け取りください。この保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でもサービスが有償になることがあります。



#### オーナーズマニュアルの保管について

オーナーズマニュアルはお読みになった後も、保証書とともに大切に保管してください。



### 音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。

適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

# ユーザーサポートサービスのご案内

このたびは、ヤマハA7000をお買い求めいただきましてありがとうございます。

ヤマハデジタル商品は、常に新技術・高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような商品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究、改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル商品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験が必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」「手順通りに動作しない」「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう弊社では、デジタルインフォメーションセンターを開設いたしております。

お気軽にご利用いただきますようご案内いたします。

## デジタルインフォメーションセンターについて

ヤマハデジタルインフォメーションセンターでは、デジタル楽器の使用法やトラブルなどについて、電話による質問をお受けいたします。

お問い合わせの際には、「製品名」「製造番号」「ご住所」「お名前」「電話番号」を必ずお知らせください。また、「システムプログラムのバージョン」「SCSIデバイス環境」「操作の手順やそれによる結果と状態」なども詳しくお伝えください。

### ヤマハデジタルインフォメーションセンター

TEL. 053 - 460 - 1666

受付日	月曜日～金曜日 (祝日および弊社の休業日を除く)
受付時間	9:00～12:00 / 13:00～17:00

---

# マニュアルの構成

---

オーナーズマニュアルは、「ベーシックガイド」と「リファレンス」という大きく2部に分かれているマニュアルと、カードタイプの「クイックリファレンスシート」で構成されています。

本書は将来のシステムプログラムのバージョンアップにも迅速に対応するため、章単位でページが差し替えられる構成になっています。このため、詳細な目次は各章の先頭に用意してあります。

---

## ベーシックガイド

はじめて本機をお使いになる方のために、基本的な機能や考え方、覚えておいて欲しい操作などを説明しています。特に第1章、第2章では本機を使う上でとても大切なことを説明していますので、必ずお読みください。

### 第1章 Setup the A7000

各部の名称と機能や周辺機器との接続方法、動作の確認、オプションの内蔵ハードディスクやMO、拡張メモリーSIMMの装着方法などを説明します。

### 第2章 Learn the A7000

本機のしくみ、大切な用語、基本操作からエディットの進め方などを説明します。

### 第3章 Try the A7000

実際の操作を進めながらさまざまな使い方を紹介します。基本操作を理解されている方は、ここからお読みください。

### 第4章 Use the A7000

用途、状況別の具体的な操作方法や、さらに高度に使いこなすためのアイデアを説明します。必要に応じてご覧ください。

---

## リファレンス

本機の全機能をモード別に説明しています。辞書のようにお使いください。

### 第1章 ディスクモード

ファイル、ボリューム、ディスク操作を行うディスクモードの全機能を説明します。

### 第2章 メモリーモード/リスト、ワンオブジェクト

実際の演奏を行ったり、セーブなどを行う操作について説明します。



第3章 メモリーモード / パフォーマンスエディット  
パフォーマンスエディットの操作について説明します。

第4章 メモリーモード / ノーマルボイスエディット  
ノーマルボイスエディットの操作について説明します。

第5章 メモリーモード / ドラムボイスエディット  
ドラムボイスエディットの操作について説明します。

第6章 メモリーモード / トリガーリストエディット  
トリガーリストエディットの操作について説明します。

第7章 メモリーモード / サンプルエディット  
サンプルエディットの操作について説明します。

第8章 レコーディングモード  
サンプルをレコーディングする「レコーディングモード」の全機能を説明します。

第9章 ユーティリティ  
システムやプリファレンス、MIDI、ユーザーインターフェースなどの設定に関する機能を説明します。

付録  
各種一覧表や用語解説、困ったときの対処法、仕様などが集めてあります。





## クイックリファレンスシート

本機の全機能をまとめてあります。本体のそばに置いて活用してください。

# 表記について

本書では、次のようなマークを使って、ボタンや説明内容を表します。

  など

・フロントパネル上のボタンを示します。枠の中の文字は、ボタンの上側に印刷されている文字です。また、あるボタンを押しながら、他のボタンを押す操作は「+」の記号で表します。たとえば「 + 」は、「を押しながら を押す」という操作を示します。



・注意事項を示します。大切なデータをなくしたりしないよう、必ずお読みください。




・参考となる記述を示します。応用的な操作や、関連することがらを説明します。必要に応じてお読みください。






・手順を示します。その機能を実行するときは、この手順にしたがって操作を進めてください。



・各機能を解説する記述を示します。

P.  ・関連した機能の記載ページを示します。必要に応じて参照してください。

また、「リファレンス」の各機能の説明の先頭では、次のような形式で重要な項目を表記します。

機能の階層と名称	その機能の概要	その機能に入るまでの手順
List : LIST : リスト		
<b>機能</b>	メモリー上のオブジェクトを一覧形式で表示します。	
<b>操作</b>	  (List)	
Name	任意のファイル	
Pgm	---, 1 ~ 128	
M	無印, √	
設定する項目名	設定範囲	表示される画面

ヤマハ株式会社